



(写真) Vente Venezuela “EU 議会がマドゥロ政権を批判 マドゥロ政権と EU 議会の関係悪化”

2024年2月7日（水曜）

政治

「[Hinterlaces](#) 米は MCM より自国の原油確保優先
～MCM 氏 自身の代理候補を決定?～」

「[MCM 氏](#) 与党支持者から妨害受ける」

「[CLAP](#) 24年内に100%国内産に変更」

「[在ベネ・コロンビア元大使](#) FAO 大使に」

経済

「[Exxon Mobil](#) ベネズエラ領海付近で油田探索
～マドゥロ政権 合意と国際法違反を指摘～」

「[コーヒー生豆](#) 70トン米国に輸出」

「[米国から小麦](#) 1.7万トン輸入」

2024年2月8日（木曜）

政治

「[欧州議会](#) MCM 氏の出馬禁止措置を批判
～マドゥロ政権への制裁強化を要請～」

「[与党国会](#) 欧州議員にペルソナノングラタ」

「[MCM](#) 代理候補を求める者はマドゥロ派閥」

経済

「[ベネズエラ産タイヤ](#) 需要の30%をカバー」

「[Petrobras](#) ベネに期待も制裁の動向を注視」

「[支払い割賦アプリ Cashea](#) 200万人使用」

社会

「[ベネズエラのカーニバルシーズン](#) 旅行代金」

2024年2月7日（水曜）

政治

「Hinterlaces 米はMCMより自国の原油確保優先
～MCM氏 自身の代理候補を決定?～」

世論調査会社「Hinterlaces」(与党に近い世論調査会社)のオスカル・シメル社長は、「バイデン政権は自国の原油確保のためにMCMを犠牲にする用意がある」と言及した。

米国とベネズエラの政治的な緊張を緩和するために、バイデン政権のファン・ゴンサレス顧問とホルヘ・ロドリゲス議長が会合を行った（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1020](#)」）。

シメル社長によると、同会合でゴンサレス顧問は、マチャド氏について「頑固で大統領になることに固執している」と不満を漏らしたという。

また、「米国政府は現在よりも秩序だった関係を求めており、ベネズエラとのイデオロギー的な衝突を求めている」「MCM氏は社会の安定と政治的な合意の成立に寄与しない」と表現したという。

他「マドゥロ政権に現在の方針を変更し、自由で公平な選挙を実施するよう要請し、これが実現しなければベネズエラへの経済制裁を科す」と伝えたという。

また、
「米国ホワイトハウスや主要野党関係者との協議の結果、MCM氏とVente Venezuelaの選挙対策チームは、代理候補として、Magalli Meda氏を推薦する方針を決めた」と指摘した。

Magalli Meda氏（少しぼやけているが下写真でMCM氏の後ろにいる女性）は、MCM氏のコミュニケーション顧問であり、イメージ戦略を担当している人物。

2012年から彼女のソーシャルメディアは全く更新されておらず、政治的にはほぼ無名の人物。

MCM氏主導で代理候補を立てるとすれば最も可能性の高い人物だろう。



(写真) @OscarSchemelM

「MCM氏 与党支持者から妨害受ける」

2月7日 MCM氏がミランダ州チャラジャベで選挙活動を行っていた際、与党支持者らが乱入。石や木を投げてMCM氏の選挙活動を妨害した。

MCM氏は護衛に守られ、車に乗り怪我はしていないが、Vente Venezuelaのスタッフが負傷した映像が報じられている。



「Vente Venezuela」のスタッフは、「警察は与党支持者の暴動を抑えなかった」と警察の対応を批判。政治的な迫害であると主張した。

「CLAP 24年以内に100%国内産に変更」

「CLAP」は、貧困層を中心に安価な食料セットを販売するマドゥロ政権の主要な社会支援プログラム。

「品質が悪い」「消費期限が切れていた」「配布頻度が少ない」「与党支持者に優先的に食品セットが販売されている」など否定的な指摘は多いが、ベネズエラ人の生活に欠かせない存在になっていることも事実である。

この CLAP について、マドゥロ大統領は「今年中に CLAP の食料セットを100%国産にする」と発言した。

マドゥロ大統領によると、2020年当時 CLAP の食料セットは87%が外国産だったという。

しかし、現在97%は国産になっており、今年中に100%にするという。

「在ベネ・コロンビア元大使 FAO 大使に」

コロンビア政府は、在ベネズエラ・コロンビア代表大使を務めていた Armando Benedetti 氏を「国連食糧農業機関 (FAO)」のコロンビア代表大使に任命した。

Benedetti 元大使は、ペトロ政権のスキャンダルを受けて、在ベネズエラ・コロンビア代表大使を辞任した人物。

詳細は「[ベネズエラ・トゥデイ No.917](#)」を参照されたいが、Benedetti 元大使の部下だった人物による不正行為に協力したとされている。

また、ペトロ大統領の選挙キャンペーンでは、非合法的な資金集めに協力したようで、自身の待遇改善を求めて「私は150億ペソをねん出した。誰がこの資金を提供したのか暴露してほしいのか」とペトロ政権関係者を脅迫する音声が流出。

一時はペトロ政権の存続を脅かすほどのスキャンダルに発展した。

このスキャンダルから1年近くが経過し、ほとぼりが冷めたのか政界に復帰するようだ。



(写真) Bancaynegocios

経 済

「Exxon Mobil ベネズエラ領海付近で油田探索 ～マドゥロ政権 合意と国際法違反を指摘～」

「Exxon Mobil Guyana」の Alistair Routledge 社長は、2024年中に探索を目的とした「Liza 油田」「Payara 油田」の掘削を検討していると述べた。

「Liza 油田」「Payara 油田」は、ベネズエラとガイアナが領有権を争っているエセキボ地域の領海に位置する。

マドゥロ政権は、領有権が定まっていない領海におけるガイアナの開発を批判しており、23年12月には両国の緊張が高まった。

これを受けて、12月14日に両国首相がセントビンセント・グレナディーン諸島のアーガイルにて協議を実施（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1000](#)」）。

「紛争を悪化させる如何なる言動・行動を停止する」「領土問題を議論するための協議委員会を発足する」など一定の合意を交わし、両国の緊張は以前より緩和した。

マドゥロ政権は、Exxon Mobilによる「Liza油田」「Payara油田」の掘削検討について合意違反を主張。

デルシー・ロドリゲス副大統領は、「アーガイル協定と国際法を明確に違反している」と主張。

パドリーノ・ロペス国防相も

「この海域はベネズエラのものである。法律に則り毅然とした対応を講じる」と述べており、再び両国の緊張が高まる懸念がある。

「コーヒー生豆 70トン米国に輸出」

ララ州のアドルフォ・ペレイラ知事は、「ベネズエラ産のコーヒー生豆70トン米国に輸出した」と発表した。

今回の輸出は、ララ州の輸出振興公社「Emcoex」とベネズエラ製品の輸出振興を行う「Asopras」の協力により実現したもの。

米国企業への販売・輸出など実際のオペレーションは「Asopras」が行うという。

ベネズエラはコーヒー豆の輸出振興に力を入れており、昨年日本にも何度か輸出をしている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1007](#)」）。

「米国から小麦1.7万トンを輸入」

米国ヒューストンからスクレ州クマナ港に17,500トンの小麦が到着した。前回、クマナ港に小麦が到着したのは10年以上前だという。

輸入した小麦は主に「Monaca」という食品加工会社で使用されるという。

Monacaは元々メキシコの食品加工会社「Gruma」の子会社だったが、故チャベス政権時代に接収され、現在は国営企業になっており、以下のような小麦粉・調味料などを生産している。



（写真） Monaca

2024年2月8日（木曜）

政治

「欧州議会 MCM 氏の出馬禁止措置を批判

～マドゥロ政権への制裁強化を要請～」

2月8日 欧州議会は、ベネズエラで起きている野党政治家に対する迫害を批判。特に最高裁が決定した MCM 氏の公職権停止措置の継続について批判する決議を承認した。

なお、この決議文では、エンリケ・カプリレス元ミランダ州知事の公職権停止措置が継続した点についても言及されている。

決議は466議席が賛成。21議席が反対。32議席が棄権で承認された。

決議文では、「MCM 氏の大統領選出馬の妨害行為はバルバドス合意の違反に当たる」「バルバドス合意を順守することで、汚職と強権統治から民主主義に変わるきっかけになる」と指摘されている。

また、人権と民主主義を毀損する責任者に対する制裁を強化するよう要請。マドゥロ政権がバルバドス合意を尊重しない限り、EU から選挙監視団を派遣するべきではないとの見解を示した。



Con amplia mayoría, desde el Parlamento Europeo, hemos aprobado la resolución que exige la habilitación de la candidata presidencial @MariaCorinaYA, el cese de las persecuciones y el respeto a los Acuerdos de Barbados para lograr unas elecciones democráticas en #Venezuela



(写真) @LeopoldoLopezG (レオポルド・ロベス VP 党首の父親で西 PP 所属の EU 議会議員)

「与党国会 欧州議員にペルソナノングラタ」

2月8日 ベネズエラの与党国会は、欧州議会による決議承認に反応。

前述の決議に賛成票を投じた EU 議会議員を「ペルソナノングラタ」に指定することを決定した。

「ペルソナノングラタ」とは外交用語で、指定した人物の入国を禁止するもの。ベネズエラに駐在している外交官の場合、指定された人物は離任しなければいけないという措置である。

ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、今回の EU 議会の決議について

「EU 議会による決議は明確な内政干渉であり、ベネズエラ憲法で保障された国家の権利の侵害である」

「中立性の欠如と合意を形成する意思の欠如を理由に、今年の大統領選における EU の国際監視団としての評価を下げることになる。」

とコメント。

EU 選挙監視団は、大統領選の監視団としてふさわしくないとの認識を示した。

「MCM 代理候補を求める者はマドゥロ派閥」

本号「Hinterlaces 米は MCM より自国の原油確保優先」にて紹介した通り、MCM 氏は自身の後任候補を決めたという噂がある。

また、最高裁が MCM 氏の公職権停止措置を継続したことを受けて、主要野党内でも「MCM 氏の代理候補を立てるべき」「代理候補でも当選できる」との声が挙がっている。

「代理候補でも当選できる」と主張するグループの根拠は、21年11月に実施されたバリナス州知事選。

当時の選挙では、野党候補（フレディ・スペラノ氏）が当選したが、マドゥロ政権側の行政監督庁が「スペラノ氏は公職権停止措置を受けていた」と発表。

結局、野党側は別の候補者（セルヒオ・ガリド氏）を擁立し、再選挙の末、野党候補が再び与党候補を下し、現在、バリナス州はセルヒオ・ガリド氏が知事を務めている。

前述の理由から、セルヒオ・ガリド氏自身を含めて「代理候補でも選挙に勝つことが出来る」と主張するグループが存在するが、この意見についてMCM氏は「代理候補を立てることはベネズエラ選挙を終わらせることを意味する」と主張。「バリナス州の事例を引き合いに出すのは、マドゥロ政権派閥の人間である」との見解を示した。

ただし、率直に言って、MCM氏の公職権停止措置が解除される可能性はほとんどない。MCM氏は公職権停止措置が解除されない場合、どのような方針を執るのか明確にする義務があるだろう。

経 済

「ベネズエラ産タイヤ 需要の30%をカバー」

「タイヤ連合会（Asocauchos）」のオーランド・サンス代表は、2023年のタイヤ製造業について、「期待していた生産数に達しなかった」との見解を示した。

生産が伸び悩んだ理由について「原材料不足」「技術問題」「労働債務」「外国製品との競合」などを挙げた。

また、「新型の車に装着するためには一定の設備更新が必要だが、設備更新が追いついていない」と指摘。

他、「一部のタイヤメーカーは所有者が交代したが、旧所有者が労働者に対して抱えていた労働負債も受け継いでいる。この負債を解決するのに苦慮している」と指摘。

これらの理由からベネズエラ国内のタイヤ生産は伸び悩んでおり、国内需要の30%程度しかカバーできておらず、残りの70%は輸入品だという。

「Petrobras ベネに期待も制裁の動向を注視」

ブラジルのエネルギー会社「Petrobras」の Jean Paul Prate 最高経営責任者（CEO）は、インドのゴアで開催された「Energy Week」に出席。

インド・中国・クウェート・カタールなどでの事業に関心を示すと同時にベネズエラについて

「我々はベネズエラの未来のコンディションを見ている。何故なら、ベネズエラは全ての企業との協議を歓迎している国だからだ。制裁が緩和するかどうかを注視している」と言及。

また、ブラジルがベネズエラに対して抱えている債権について「ベネズエラがブラジルに負っている債務についても検討している。この先を期待している」とコメントした。

「支払い割賦アプリ Cashea 200万人が使用」

各人の資金力に応じて割賦支払いサービスを提供する「Cashea」の使用が増えている（Casheaについては「[ベネズエラ・トゥデイ No.1004](#)」参照）。

Cashea のペドロ・ソサ CEO によると、2023年末時点でベネズエラ国内での Cashea 利用者数は200万人。23年12月だけで44万回のオペレーションが実行されたという。

現在の Cashea 利用者の所得層について、所得層 C（中間層の中では所得が多い層）、D（中間層）、E（貧困層の中でも所得が多い層）が中心で、特に C、E が多いと説明。

2023年末時点の提携店舗数は1,050店舗。23年6月当時は200店舗だったので、半年で急速に増加しているという。

具体的には「Beco」「Balú Hogar」「Ben Sherman Kids」「Casio」「Crocs」「Dockers」「Golds Gym」「Lee Cooper」「Levis」「Nike」「Pintacasa」「Swarovski」「Timberland」「Óptica Caron」などで使用できるという。

社 会

「ベネズエラのカーニバルシーズン旅行代金」

2月12日～13日は「カーニバル（謝肉祭）」。
ベネズエラは国民の祝日で、旅行シーズンになる。
経済系メディア「Bancaynegocios」は、このカーニバル期の旅行代金について紹介している。

・マルガリータ（ヌエバエスパルタ州のビーチリゾート）



複数の旅行代理店にヒアリングしたところ、2泊3日の旅行パッケージプラン（飛行機・ホテル・朝食代込み）で260～350ドル/人。料金は宿泊施設のレベルに応じて変わる。

・カナイマ（エンジェルフォールで有名な観光地）



世界的に有名なベネズエラの観光地。

カナイマへのパッケージツアー（飛行機代・国立公園入場料・カナイマ探索ツアー代・食事代・ホテル代3泊4日）など全て込みで970ドル～1,637ドル/人。

・ロスロケス（世界で最も美しいビーチと呼ばれる島）



ロスロケス諸島は、美しいビーチとして世界的に有名な島。

ツアー料金は、飛行機代・ボートでの移動代・食事・軽食・3泊4日のホテル代など含めて、690ドル～1,950ドル/人だという。

以上